

科目名 (英)	プロ養成講座 (Career Development)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
学科・コース	医療事務専科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	前期
【授業の学習内容と心構え】 外来現場で受付、レセプト業務、企業への健診請求を行った教員が授業を担当。社会に出たときに「あなたと一緒に仕事がしたい！」と思われる人になれるよう、他者と連携・協働ができるようになるための授業を行う。『1年後には社会人になる』という自覚をもって受講してほしい。 とにかく忙しい1年間になりますが、明るく！楽しく！元氣よく！授業に参加しましょう！							
【到達目標】 ・1年間の学校生活の流れとルールを知り、スムーズに学校生活をスタートすることができる ・就職活動に必要な情報を修得し、早期に活動を開始できる ・資格試験へ臨む心構えを整え、モチベーションを高める							
【使用教科書・教材・参考書】 ・教科書「Hand-book of LIFE STYLE」 ・教科書「医療事務のための病院事務系ワークの基礎知識」 ・配布資料				【授業外における学習】 ・課題提出は必須であり、提出期限を厳守する			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 オリエンテーション 【授業形態】 演習 【到達目標】 導入教育・入学式での振り返りと1年間の流れ・前期の流れを確認し、1年後の目標を設定する。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
2	【授業単元】 就職に向けて 【授業形態】 演習 【到達目標】 医療事務の職種についての把握できる。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
3	【授業単元】 就職合同説明会① 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・就職活動にふさわしい身だしなみができている。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
4	【授業単元】 後期授業の確認 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・後期に向けて、資格取得に向けてのスケジュールを把握できている。医療秘書技能検定・医事コンピュータ技能検定の受験級を決められる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
5	【授業単元】 検定に向けての準備 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・気構え・心構えが実践できている。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
6	【授業単元】 1年間の振り返りと決意を固める 【授業形態】 演習 【到達目標】 社会人としての決意を言葉にできる。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
7	【授業単元】 デュアル実習後のお礼状に関して 【授業形態】 演習 【到達目標】 デュアル実習先へのお礼状を完成できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
8	【授業単元】 定期試験(実技) 【授業形態】 演習 【到達目標】 1年間の振り返り				【評価について】 評価は、定期試験(実技)で行う。授業で習得した知識の理解度、定着度を確認する。 出席点(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。 評価は、学則規定に準ずる。		
【特記事項】							

科目名 (英)	パソコン (Personal Computer)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
学科・専攻	医療事務専科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	45時間 (3)	開講区分 曜日・時間	前期 木曜日 1・2時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 滋慶学園グループのコンピュータ関連企業に所属しており、複数の専門学校にて学生へのPC講義や教職員へのPC研修を実施している。 ＜学習内容＞ ・コンピュータネットワーク環境の適切な利用を学ぶ ・タイピング ・メールマナー ・Wordで複合文書を作成する ・PowerPointを利用して、効果的なスライドを作成できる							
【到達目標】 ・新しいテクノロジーや情報を扱うための基礎的な知識や注意点を理解し、正しく活用できる ・Wordを利用し、複合文書の作成ができる ・PowerPointを利用し、効果的なスライドの作成ができる ・マナーを理解し、メールを送信できる							
【使用教科書・教材・参考書】 滋慶学園グループの学生に必要なスキルに特化した、オリジナルのe-learning(インターネット上のテキスト)を使用				【授業外における学習】 次回講義までに不明な操作をe-learning(インターネット上のテキスト)で確認しておく			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 CCT入門1 【授業形態】 演習 【到達目標】 講座を受講する意義を理解し、PCの基本操作ができる			9	【授業単元】 就職送付状作成、PDF変換 【授業形態】 演習 【到達目標】 就職活動の際に使用する送付状など、目的に合わせたビジネス文書を作成できる		
2	【授業単元】 CCT入門2 【授業形態】 演習 【到達目標】 新しいテクノロジーや情報を扱うための基礎的な知識や注意点を理解し、正しく上手に活用できる			10	【授業単元】 PowerPoint1(基本操作) 【授業形態】 演習 【到達目標】 プレゼンテーションソフトの基本操作ができる		
3	【授業単元】 Word基礎1+タイピング 【授業形態】 演習 【到達目標】 文書作成ソフトを使って、効率的にビジネス文書を作ることができる			11	【授業単元】 PowerPoint2(表現力を上げる) 【授業形態】 演習 【到達目標】 図形や画像を活用したスライドを作成できる		
4	【授業単元】 Word基礎2+タイピング 【授業形態】 演習 【到達目標】 画像や図形を駆使した文書を作成できる			12	【授業単元】 PowerPoint3(動きを付ける) 【授業形態】 演習 【到達目標】 スライドに動きを付け、全てのスライドを完成できる		
5	【授業単元】 Word基礎3+タイピング 【授業形態】 演習 【到達目標】 表を駆使した文書を作ることができる			13	【授業単元】 PowerPoint 【授業形態】 演習 【到達目標】 フォントや配色などを工夫して見やすいスライドに編集できる		
6	【授業単元】 メールマナー 【授業形態】 演習 【到達目標】 受け取り手に好印象を与えるメールのマナーを知り、メール機能を使いこなすことができる			14	【授業単元】 PowerPoint試験対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 PowerPoint1-3で習ったことを実践できる		
7	【授業単元】 Word試験対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 Word基礎1-3で習ったことを実践できる			15	【授業単元】 PowerPoint試験対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 定期試験 PowerPointスライド作成 試験範囲: PowerPoint1-3		
8	【授業単元】 Word中間試験 【授業形態】 演習 【到達目標】 中間試験 Word資料作成 試験範囲: Word基礎1-3			【評価方法について】 評価は実技試験で行い、授業内で説明した機能の理解、操作の定着度を確認する。中間試験(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。評価は学則規定に準ずる。			
【特記事項】							

科目名 (英)	パソコン (Personal Computer)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
学科・専攻	医療事務専科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	45時間 (3)	開講区分 曜日・時間	後期 木曜日 1時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 滋慶学園グループのコンピュータ関連企業に所属しており、複数の専門学校にて学生へのPC講義や教職員へのPC研修を実施している。 ＜学習内容＞ ・Excelの基本操作やデータベース、効果的なグラフの作成方法を学ぶ” ・実習報告スライド作成							
【到達目標】 ・Excelを利用し、表計算や表の作成ができる ・データを正しく読み解く知識を身に着ける ・実習報告のスライドを作成できる							
【使用教科書・教材・参考書】 滋慶学園グループの学生に必要なスキルに特化した、オリジナルのe-learning(インターネット上のテキスト)を使用				【授業外における学習】 次回講義までに不明な操作をe-learning(インターネット上のテキスト)で確認しておく			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
16	【授業単元】 CCT入門4 【授業形態】 演習 【到達目標】 Officeの基本操作ができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
17	【授業単元】 Excel基礎1+タイピング 【授業形態】 演習 【到達目標】 企業や施設が求める表計算ソフトの操作ができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
18	【授業単元】 Excel基礎2+タイピング 【授業形態】 演習 【到達目標】 関数を駆使した資料を作成できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
19	【授業単元】 Excel応用A(データベース) 【授業形態】 演習 【到達目標】 データベース機能を理解し活用できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
20	【授業単元】 データリテラシー 【授業形態】 演習 【到達目標】 データを読み解くための基本的な知識を身につけて、適正かつ有効に活用できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
21	【授業単元】 実習スライド作成1 【授業形態】 演習 【到達目標】 実習スライドを作成できる1				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
22	【授業単元】 実習スライド作成2 【授業形態】 演習 【到達目標】 実習スライドを作成できる2				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
23	【授業単元】 実習スライド作成3 【授業形態】 演習 【到達目標】 実習スライドを完成させる				【評価方法について】 評価は実習報告スライドの作成内容で行う。 小テスト点40点と、スライド評価60点の合計100点満点で評価する。評価は学則規定に準ずる。		
【特記事項】							

科目名 (英)	心理学 (Psychology)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
学科・専攻	医療事務専科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 金曜日 1時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 臨床心理士・公認心理師として医療現場や教育現場での経験があり、特に、メンタルヘルスや健康心理学に関して講義をしてきた教員が、現在のストレス社会に対して、様々な対処方法を習得する授業を行う。また、心理テストを通して自分自身の心理状態を知る学習する。さらには、人との関わり方や伝わり方を考え、上手なコミュニケーションを習得する授業を行う。最後は、発達段階を学び、今後の自分自身のライフプランをイメージする授業を行う。							
【到達目標】 自分自身のストレス状態を説明できる。そして、自分自身のストレスに対して、セルフコントロールができるようになる。 また、自分の今の心理状態を知り、自分が他人に与える影響を説明できる。さらに、上手なコミュニケーションを習得し、円滑な人間関係を築くことができる。 発達段階を学び、今後の自分自身について考え、これからのライフプランをイメージできるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】 授業で学んだことを復習し、生活の中で実践し、検証してみる。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 ストレスと健康 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 現代社会のストレスについて説明できる。 自分のストレスについて説明できる。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
2	【授業単元】 ストレスコーピングとコーピングレパトリー 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ストレスモデルについて説明できる。 ストレスコーピングについて説明できる。 レパトリーリストを作成できる。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
3	【授業単元】 世の中の仕組みからバイアスを知る 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 様々なバイアスについて説明できる。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
4	【授業単元】 心をケアする。 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 話を聴くスキルを説明できる。 代表的な心理療法について説明できる。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
5	【授業単元】 特別な配慮を要する家庭 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 特別な配慮を要する家庭について説明できる 適切な容易と家庭の機能不全について説明できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
6	【授業単元】 犯罪心理学 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 犯罪を犯す原因について説明できる。 犯罪に巻き込まれないために気をつけることを説明できる。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
7	【授業単元】 性格の心理 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 自分の性格について心理テストを通して説明できる。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
8	【授業単元】 定期試験・解説 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 これまでの内容が定着している。				【評価方法について】 小テスト実施 40点 定期テスト 60点		
【特記事項】							

科目名 (英)	就職対策講座Ⅰ (Finding Employment SeminarⅠ)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
学科・専攻	医療事務専科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分 曜日・時間	前期 木曜日 3・4時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 企業における人材育成にも携わり、専門学校や大学で長年にわたって就職指導をしてきた教員が、就職活動に必要なマナーと好感度の高い履歴書を作成するための授業を行う。後半は筆記試験対策とする。課題提出は必須であり、提出が遅れると次に進めないで、提出期限厳守で授業に臨んでほしい。社会人になるという自覚と就職に対する強い意識をもって受講すること							
【到達目標】 実習先に提出する履歴書を完成させる 自己分析を通して「何ができるのか」「何がしたいのか」を明確にし、就職活動に活かすことができる 就職活動に必要なマナーを身につける							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
プリント資料 就職活動マニュアル				授業単元に書かれていることが毎回の提出課題になるので、セールスポイントやエピソードなどを思い起こし、あらかじめ書き出しておくことが望ましい			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】履歴書作成時の注意点 自己分析① 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 履歴書作成時の注意点が理解できる 実習先に出す履歴書と就職先に出す履歴書の違いが理解できる 自分の強み、弱み、価値観を明確にすることができる			9	【授業単元】SPI・一般常識対策 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 出題の傾向を知り、解法パターンを身につける 苦手分野を把握し、今後の対策を講じることができる		
2	【授業単元】自己分析② 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 セールスポイント→エピソード→活用法について、わかりやすい文章で伝えることができる			10	【授業単元】SPI・一般常識対策 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 出題の傾向を知り、解法パターンを身につける 苦手分野を把握し、今後の対策を講じることができる		
3	【授業単元】志望動機① 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 やりたい仕事→興味を持った理由→将来の抱負を明確にすることができる			11	【授業単元】SPI・一般常識対策 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 出題の傾向を知り、解法パターンを身につける 苦手分野を把握し、今後の対策を講じることができる		
4	【授業単元】志望動機② 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 やりたい仕事→興味を持った理由→将来の抱負を説得力のある言葉で伝えることができる			12	【授業単元】SPI・一般常識対策 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 出題の傾向を知り、解法パターンを身につける 苦手分野を把握し、今後の対策を講じることができる		
5	【授業単元】学生時代に力を注いだ事 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 力を注いできたことから何を学んだのか、それを仕事にどう活かしていくかを自己PRとダブらないようエピソードの種類を変えてアピールできる			13	【授業単元】時事問題・小論文 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 時事問題の情報収集法と勉強法を知る 評価される小論文の書き方のコツについて説明できる 時事問題をテーマに小論文が書ける		
6	【授業単元】身だしなみと立ち居振舞い 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 実習に行く際の態度、身だしなみ、立ち居振舞いを習得し、マナーの向上ができる			14	【授業単元】時事問題・小論文 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 時事問題をテーマに小論文が書ける		
7	【授業単元】ロールプレイング 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 実習初日を想定した動作(名乗って一担当者への取り次ぎ依頼をし→あいさつをする)が感じよくスムーズにできる			15	【授業単元】定期試験、解答解説 【授業形態】講義・演習 【到達目標】		
8	【授業単元】中間試験、解答解説 【授業形態】講義・演習 【到達目標】			【評価方法について】 評価は、小テスト(40点)と中間試験(30点)・定期試験(30点)の合計100点満点で行う 評価は学則規定に準ずる			
【特記事項】							

科目名 (英)	就職対策講座Ⅱ (Measures Employment SeminarⅡ)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
学科・コース	医療事務専科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	前期 月曜日 3・4限
【授業の学習内容と心構え】 企業における人材育成にも携わり、数多くの大学や専門学校で就職指導をしてきた教員が、面接対応力を高めるための授業を行う 後半は筆記試験対策とする 社会人になるという自覚、就職に対する強い意識をもって受講してほしい							
【到達目標】 面接官の質問の意図を理解し、的確に答えることができる 言語的コミュニケーションだけでなく、非言語的コミュニケーションにおいても高い評価を得ることができる 出題の傾向を知り、解法パターンを身につける 苦手分野を把握し、対策を講じることができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
プリント資料				常に新聞やニュースをチェックする 多くの社会人に会い、社会人の多様な価値観に触れる			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 オリエンテーション ・ 面接演習 【授業形態】 講義 演習 【到達目標】 授業の内容と目的、進め方を理解する 面接の目的と心構え、面接の種類、評価のポイントを理解する			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
2	【授業単元】 面接演習 【授業形態】 講義 演習 【到達目標】 第一印象の重要性について説明できる 面接の流れを理解し、自分の強みをアピールすることができる			【授業形態】 【授業形態】 【到達目標】			
3	【授業単元】 面接演習 【授業形態】 講義 演習 【到達目標】 面接官役をすることで採用担当者の視点を理解することができる 面接官の質問の意図を理解し、的確に答えることができる			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
4	【授業単元】 面接演習 【授業形態】 講義 演習 【到達目標】 面接官の質問の意図を理解し、的確に答えることができる 聞き取りやすい話し方で、わかりやすく伝えることができる			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
5	【授業単元】 SPI ・一般常識対策 【授業形態】 講義 演習 【到達目標】 出題の傾向を知り、解法のパターンを身につける 苦手分野を把握し、対策を講じることができる			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
6	【授業単元】 SPI ・一般常識対策 【授業形態】 講義 演習 【到達目標】 出題の傾向を知り、解法のパターンを身につける 苦手分野を把握し、対策を講じることができる			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
7	【授業単元】 SPI ・一般常識対策 【授業形態】 講義 演習 【到達目標】 出題の傾向を知り、解法のパターンを身につける 苦手分野を把握し、対策を講じることができる			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
8	【授業単元】 定期試験 【授業形態】 【到達目標】			【評価について】 評価は、小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で行う 評価は学則規定に準ずる			
【特記事項】							

科目名 (英)	疾病学 (Disease Studies)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
学科・コース	医療事務専科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60時間 (4)	曜日・時間	前 期 火曜日1限・金曜日2限
【授業の学習内容と心構え】 看護及び教育学士として大学病院で臨床経験を積み、大手医療機器メーカーにて医療従事者に対しての教育に携わりながら、医療現場の知識と安全向上のために貢献してきた教員が、病気に合った診療科目を選択することができるよう、体の区分を理解し、極めて頻度の高い病気の主な原因、症状及び診療などについて講義形式で授業していく。まずは身近な病気を学び、普段使用しない医療用語(英語含む)に少しずつ慣れることを期待する。第9回～14回は、人の体と機能で学んだ各臓器や器官の主な病気の原因、症状を理解し、診療・検査・治療に関連づけることができるよう授業していく。							
【到達目標】 ≪第1回～8回≫ 医療従事者として必要な病気に関する基礎的医療用語を理解でき、適切な診療科目と結び付けることができる。 ≪第9回～14回≫ 各臓器における代表的な病気の症状、原因、検査と治療を理解し、ドクターカルテ及びナースカルテの内容を理解できるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
各授業毎に重要事項を記入するプリントを配布				各授業で配布したプリント及び小テストの復習 授業中紹介する映像サイトなどで視聴覚的に復習する			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 病気とは…体の区分と診療科目について 【授業形態】 講 義 【到達目標】 診療科目の区分を理解する			9	【授業単元】 脳と頭頸部の病気 ①脳と血管 【授業形態】 講 義 【到達目標】 脳の保護機能(膜と髄液)と結び付け、脳血管疾患の種類とその症状、原因、治療について理解する		
2	【授業単元】 貧血、高血圧、虚血性心疾患について 【授業形態】 講 義 【到達目標】 貧血の種類とそれぞれの特徴、高血圧の基準値、虚血性心疾患の発生機序を理解する			10	【授業単元】 脳と頭頸部の病気 ②脳と脊髄(神経) 【授業形態】 講 義 【到達目標】 神経系疾患の種類とその症状、原因、治療について理解する		
3	【授業単元】 胃潰瘍、十二指腸潰瘍、糖尿病について 【授業形態】 講 義 【到達目標】 胃潰瘍と十二指腸潰瘍の症状の特徴、糖尿病の種類と症状を理解する			11	【授業単元】 脳と頭頸部の病気 ③脳と内分泌機能 【授業形態】 講 義 【到達目標】 内分泌機能とその異常症を結び付け、原因、症状、治療を理解する		
4	【授業単元】 気管支喘息、肺炎、慢性閉塞性肺疾患について 【授業形態】 講 義 【到達目標】 気管支喘息と肺炎の症状、慢性閉塞性肺疾患の概要を理解する			12	【授業単元】 心臓と血管の病気 ①心臓と血管 【授業形態】 講 義 【到達目標】 心臓の栄養血管の走行と虚血性心疾患の症状、原因、治療を結び付け理解できる		
5	【授業単元】 膀胱炎、ネフローゼ症候群、腎不全について 【授業形態】 講 義 【到達目標】 膀胱炎の症状、ネフローゼ症候群と腎不全の概要を理解する			13	【授業単元】 心臓と血管の病気 ②血液と循環 【授業形態】 講 義 【到達目標】 全身の血液循環と心不全の症状、原因、治療を結び付け理解できる		
6	【授業単元】 脳卒中、認知症について 【授業形態】 講 義 【到達目標】 脳卒中と認知症の概要を理解する			14	【授業単元】 呼吸器系の病気 【授業形態】 講 義 【到達目標】 肺の解剖生理と呼吸器系の病気の発生機序を結び付け、症状、原因、治療が理解できる		
7	【授業単元】 中耳炎・副鼻腔炎、近視・遠視、皮膚炎について 【授業形態】 講 義 【到達目標】 感覚器系(口・耳・鼻・眼・皮膚)の高頻度発生の病気について理解する			15	【授業単元】 定期試験 (60点満点) 【授業形態】 筆記試験		
8	【授業単元】 1～7の復習:医療秘書技能検定試験対策 【授業形態】 テスト演習			【評価について】 評価は小テストと定期試験で行う。・小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。・小テスト及び定期試験は全員筆記試験を行う。・小テストは、第1回～7回、9回～14回の授業の各回最後に行う。・評価は学則規定に準ずる。			
【特記事項】 授業内容は秘書検定等に役立つ内容となっており、各授業毎に配布するプリントに必ず重要事項を記入すること。							

科目名 (英)	疾病学 (Disease Studies)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
学科・コース	医療事務専科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60時間 (4)	開講区分 曜日・時間	後 期 金曜日 1・2限
【授業の学習内容と心構え】 看護及び教育学士として大学病院で臨床経験を積み、大手医療機器メーカーにて医療従事者に対しての教育に携わりながら、医療現場の知識と安全向上のために貢献してきた教員が、人体構造機能論で学んだ基本的解剖生理の知識を基に、各臓器や器官の主な病気の原因、症状を理解し、診療・検査・治療に関連づけることができるよう授業していく。2限目は[人の体と機能]及び[疾病学]の学びから、医療秘書技能検定2級の医学的知識問題に対応できるよう、応用問題を解きながら理解を深めてもらいたい。また、繰り返し問題を解くことにより、重要な知識を再確認する機会でもあり、問題形式になれる機会にしてほしい。							
【到達目標】 各臓器における代表的な病気の原因、症状、検査と治療を理解し、ドクターカルテ及びナースカルテの内容を理解できるようになる。また、[人の体と機能]及び[疾病学]から医学的知識を得ることにより、医療秘書技能検定2級の医学的知識問題に対応することができる。							
【使用教科書・教材・参考書】 各授業毎に重要事項を記入するプリントを配布				【授業外における学習】 各授業で配布したプリント及び小テストの復習 授業中紹介する映像サイトなどで視聴覚的に復習する			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
16	【授業単元】 消化管系の病気 ①食道・胃 ②小腸・大腸・肛門 【授業形態】 講 義 【到達目標】 胃の解剖生理と、胃潰瘍・胃癌の症状、原因、治療を結び付け理解できる。下部消化管の解剖生理と、腸閉塞・十二指腸潰瘍・大腸癌などの症状、原因、治療を結び付け理解できる。			24	【授業単元】 骨と血液の病気 【授業形態】 講 義 【到達目標】 椎間板ヘルニアや骨粗鬆症の症状、原因を骨の構造と結び付け理解できる。 貧血の種類とそれぞれの症状を理解する。		
17	【授業単元】 脳の医学的知識 【授業形態】 応用問題とその解答説明 【到達目標】 頭部・脳の解剖生理と役割・機能を理解し、体の各機能と脳との関係をつき付けながら、脳疾患の原因や診断・治療と結びつけることができる。			25	【授業単元】 基礎医学の医学的知識 1 【授業形態】 応用問題とその解答説明 【到達目標】 臨床において必要な幅広い基礎知識、例えば検査の種類や方法などについて理解を深めていく。		
18	【授業単元】 消化器系の病気 ③肝臓・膵臓・胆嚢 + 脾臓 【授業形態】 講 義 【到達目標】 膵機能と糖尿病の原因、及び肝機能と肝炎・肝硬変を結び付け、それらの症状、治療について理解できる。			26	【授業単元】 感染症・AIDSについて 【授業形態】 講 義 【到達目標】 感染症の感染経路について理解する。 予防接種の有効性について理解する。		
19	【授業単元】 消化器系の医学的知識 【授業形態】 応用問題とその解答説明 【到達目標】 消化器概要として、消化管及び消化腺の構成とその役割・機能を理解し、消化器疾患の原因や診断・治療と結びつけることができる。			27	【授業単元】 基礎医学の医学的知識 2 【授業形態】 応用問題とその解答説明 【到達目標】 臨床において必要な幅広い基礎知識、例えば検査の種類や方法などについて理解を深めていく。		
20	【授業単元】 泌尿器系及び生殖器系の病気 【授業形態】 講 義 【到達目標】 腎臓の機能と腎不全の症状、治療を結び付け理解できる。			28	【授業単元】 不整脈＋先天性心疾患 【授業形態】 講 義 【到達目標】 不整脈の中でも致死性不整脈について、その危険性を理解する。		
21	【授業単元】 泌尿器系及び生殖器系の医学的知識 【授業形態】 応用問題とその解答説明 【到達目標】 泌尿器・生殖器系の概要として、それらの解剖生理と役割・機能を理解し、代表的な疾患の原因や診断・治療と結びつけることができる。			29	【授業単元】 循環器系の医学的知識 【授業形態】 応用問題とその解答説明 【到達目標】 循環器概要として、心臓の解剖と機能、血管の種類とその機能、及び血液成分とその主なはたらきを理解し、循環器疾患の原因や診断・治療と結びつけることができる。		
22	【授業単元】 感覚器系(口・耳・鼻・眼・皮膚)の病気 【授業形態】 講 義 【到達目標】 感覚器系の解剖生理と病気の原因、原因を結び付け、それらの治療について理解できる。			30	【授業単元】 定期試験 (60点満点)、解説 【授業形態】 筆記試験、講義		
23	【授業単元】 感覚器系及び呼吸器系の医学的知識 【授業形態】 応用問題とその解答説明 【到達目標】 感覚器系の解剖整理を理解し、それぞれの代表的な疾患の原因や診断・治療と結びつけることができる。また、呼吸器概要として、呼吸経路の解剖生理とガス(酸素と二酸化炭素)交換を理解し、呼吸器疾患の原因や診断・治療と結びつけることができる。			【評価について】 評価は小テストと定期試験で行う。・小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。・小テスト及び定期試験は筆記試験を行う。・小テストは、第1回～7回、9回～14回の授業の各回最後に行う。・評価は学則規定に準ずる。			
【特記事項】 授業内容は秘書検定等に役立つ内容となっており、各授業毎に配布するプリントに必ず重要事項を記入すること。							

科目名 (英)	人の体と機能 (Theory of Body Constitution and Functions)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
学科・コース	医療事務総合学科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60時間 (4)	開講区分 曜日・時間	前 期 金曜日 1限・2限
【授業の学習内容と心構え】 看護及び教育学士として大学病院で臨床経験を積み、大手医療機器メーカーにて医療従事者に対しての教育に携わりながら、医療現場の知識と安全向上のために貢献してきた教員が、医療のスペシャリストとして必要な人体構造(解剖と生理学)の知識を習得できるよう授業していく。 前期1～15回は総論を学び、医療秘書技能検定3級合格に向けて全身を広く浅く学習していく。16～30回は体の機能別に全身をさらに深く学習していく。これは医療秘書技能検定2級合格に向けた内容となる。各臓器や各器官の役割や機能を理解し、疾病学で学ぶ内容と結び付けられることを期待する。単独で機能する身体のパーツはなく、全身と関連づけながら繰り返し出てくる内容も多いので安心して授業に臨んでほしい。							
【到達目標】 ≪1～14回≫ 医学的基礎知識を得ることにより、医療従事者として必要な基礎的医療用語(人体構造・臓器の名称や役割・機能など)を理解することができる。 ≪16～30回≫ 体の解剖生理学的知識を得ることにより、各臓器の主な病気の発症と結び付けることができ、医療秘書・医療事務として院内各診療科の医療用語などを理解することができる。							
【使用教科書・教材・参考書】 ぜんぶわかる人体解剖図 坂井武雄 他著 成美堂出版 ※各授業毎に重要事項を記入するプリントを配布				【授業外における学習】 各授業で配布したプリント及び小テストの復習 授業中紹介する映像サイトなどで視聴覚的に復習する			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 全身の構造・骨格・内臓の位置 【授業形態】 講 義 【到達目標】 全身の骨格・筋肉・臓器の位置を知り、体の構造の概要を理解する			9	【授業単元】 腎臓を含む泌尿器・生殖器系の解剖生理と役割・機能 【授業形態】 講 義 【到達目標】 泌尿器・生殖器系の概要として、それらの解剖生理と役割・機能を理解する		
2	【授業単元】 全身の構造・骨格・内臓の位置 【授業形態】 応用問題とその解答説明 【到達目標】 全身の骨格・筋肉・臓器の位置を知り、体の構造の概要を理解する			10	【授業単元】 腎臓を含む泌尿器・生殖器系の解剖生理と役割・機能 【授業形態】 応用問題とその解答説明 【到達目標】 泌尿器・生殖器系の概要として、それらの解剖生理と役割・機能を理解する		
3	【授業単元】 心臓の解剖生理とその機能、血管と血液成分 【授業形態】 講 義 【到達目標】 循環器概要として、心臓の解剖と機能、血管の種類とその機能、及び血液成分とその主なはたらきを理解する			11	【授業単元】 頭部の構造。脳と脊髄・神経、内分泌とホルモン 【授業形態】 講 義 【到達目標】 頭部・脳の解剖生理と役割・機能を理解し、第1～5回講義内容である体の各機能と脳との関係を結び付けることができる		
4	【授業単元】 心臓の解剖生理とその機能、血管と血液成分 【授業形態】 応用問題とその解答説明 【到達目標】 循環器概要として、心臓の解剖と機能、血管の種類とその機能、及び血液成分とその主なはたらきを理解する			12	【授業単元】 頭部の構造。脳と脊髄・神経、内分泌とホルモン 【授業形態】 応用問題とその解答説明 【到達目標】 頭部・脳の解剖生理と役割・機能を理解し、第1～5回講義内容である体の各機能と脳との関係を結び付けることができる		
5	【授業単元】 消化器系各臓器の解剖生理及び役割・機能 【授業形態】 講 義 【到達目標】 消化器概要として、消化管の構成とその役割・機能を理解する			13	【授業単元】 感覚器系の解剖生理と役割・機能 【授業形態】 講 義 【到達目標】 感覚器系(口・耳・鼻・眼・皮膚)の概要として、それぞれの役割・機能を理解する		
6	【授業単元】 消化器系各臓器の解剖生理及び役割・機能 【授業形態】 応用問題とその解答説明 【到達目標】 消化器概要として、消化管の構成とその役割・機能を理解する			14	【授業単元】 感覚器系の解剖生理と役割・機能 【授業形態】 応用問題とその解答説明 【到達目標】 感覚器系(口・耳・鼻・眼・皮膚)の概要として、それぞれの役割・機能を理解する		
7	【授業単元】 呼吸器の解剖生理、ガス(酸素と二酸化炭素)交換 【授業形態】 講 義 【到達目標】 呼吸器概要として、呼吸経路の解剖生理とガス(酸素と二酸化炭素)交換を理解する			15	【授業単元】 脳と頭頸部の構造・機能 ①脳と血管 【授業形態】 講 義 【到達目標】 脳の構造としくみ、及び脳血管の重要性を理解する		
8	【授業単元】 呼吸器の解剖生理、ガス(酸素と二酸化炭素)交換 【授業形態】 応用問題とその解答説明 【到達目標】 呼吸器概要として、呼吸経路の解剖生理とガス(酸素と二酸化炭素)交換を理解する						
【特記事項】 【特記事項】 授業内容は秘書検定等に役立つ内容となっており、各授業毎に配布するプリントに必ず重要事項を記入すること							

科目名 (英)	人の体と機能 (Theory of Body Constitution and Functions)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
学科・コース	医療事務総合学科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60時間 (4)	開講区分 曜日・時間	前 期 金曜日 1限・2限
【授業の学習内容と心構え】 看護及び教育学士として大学病院で臨床経験を積み、大手医療機器メーカーにて医療従事者に対しての教育に携わりながら、医療現場の知識と安全向上のために貢献してきた教員が、医療のスペシャリストとして必要な人体構造(解剖と生理学)の知識を習得できるよう授業していく。 前期1～15回は総論を学び、医療秘書技能検定3級合格に向けて全身を広く深く学習していく。16～30回は体の機能別に全身をさらに深く学習していく。これは医療秘書技能検定2級合格に向けた内容となる。 各臓器や各器官の役割や機能を理解し、疾病学で学ぶ内容と結び付けられることを期待する。単独で機能する身体の一部ではなく、全身と関連づけながら繰り返し出てくる内容も多いので安心して授業に臨んでほしい。							
【到達目標】 ≪1～14回≫ 医学的基礎知識を得ることにより、医療従事者として必要な基礎的医療用語(人体構造・臓器の名称や役割・機能など)を理解することができる。 ≪16～30回≫ 体の解剖生理学的知識を得ることにより、各臓器の主な病気の発症と結び付けることができ、医療秘書・医療事務として院内各診療科の医療用語などを理解することができる。							
【使用教科書・教材・参考書】 ぜんぶわかる人体解剖図 坂井武雄 他著 成美堂出版 ※各授業毎に重要事項を記入するプリントを配布				【授業外における学習】 各授業で配布したプリント及び小テストの復習 授業中紹介する映像サイトなどで視聴覚的に復習する			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
16	【授業単元】 脳と頭頸部の構造・機能 ②脳と脊髄(神経) 【授業形態】 講 義 【到達目標】 神経系の分類とその役割を理解する			24	【授業単元】 泌尿器系及び生殖器系の構造と機能 【授業形態】 講 義 【到達目標】 腎臓及び生殖器の解剖生理を把握し、その機能を理解する		
17	【授業単元】 脳と頭頸部の構造・機能 ③脳と内分泌機能 【授業形態】 講 義 【到達目標】 内分泌腺と各ホルモンを理解する			25	【授業単元】 感覚器系(口・耳・鼻・眼・皮膚)の構造と機能 【授業形態】 講 義 【到達目標】 各感覚器系の構造とその役割・機能について理解できる		
18	【授業単元】 心臓と血管の構造と機能 ①心臓と血管 【授業形態】 講 義 【到達目標】 心臓の構造と拍動のしくみ、及び心臓の栄養血管を理解する			26	【授業単元】 骨の構造と造血機能 及び 血液成分とその役割 【授業形態】 講 義 【到達目標】 骨と血液との関係を把握し、血液成分とその役割、及び主な血液検査項目とその基準値を把握する。		
19	【授業単元】 心臓と血管の構造と機能 ②血液と循環 【授業形態】 講 義 【到達目標】 全身の血液循環路、及び血圧とその基準値を理解する			27	【授業単元】 免疫とリンパ系 及び 胎児期について 【授業形態】 講 義 【到達目標】 免疫機構、リンパ系組織の構造とその役割・機能について理解できる。 胎児期の呼吸循環の特徴を理解する。		
20	【授業単元】 呼吸器系の構造と機能 【授業形態】 講 義 【到達目標】 気道と肺の構造・機能、及び呼吸のしくみを理解する			28	【授業単元】 コレステロールと脂質異常症・ビタミンと欠乏症 【授業形態】 問題と解答説明 【到達目標】 普段の食生活が疾病につながる、または疾病の予防になることを理解する。		
21	【授業単元】 15～20の復習:医療秘書技能検定試験対策 【授業形態】 テスト演習 【到達目標】 医療秘書技能検定試験の問題形式に慣れる。			29	【授業単元】 まとめ 【授業形態】 講義 【到達目標】		
22	【授業単元】 消化管の構造と機能 ①口腔・食道・胃 ②小腸・大腸・肛門 【授業形態】 講 義 【到達目標】 上下部消化管としてのそれぞれの役割・機能を理解する			30	【授業単元】 定期試験、解説 【授業形態】 講義		
23	【授業単元】 消化器系の構造と機能 ③肝臓・膵臓・胆嚢・脾臓 【授業形態】 講 義 【到達目標】 肝臓・膵臓・胆嚢・脾臓の腹腔内の位置関係を正確に把握し、それぞれの役割・機能を理解する			【評価について】 評価は課題提出、小テスト、定期試験で行う。 ・課題提出(10点)、小テスト(30点)、定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。 ・小テスト及び定期試験は筆記試験を行う。 ・小テストは、授業の各回最後に行う。 ・評価は学則規定に準ずる。			
【特記事項】 授業内容は秘書検定等に役立つ内容となっており、各授業毎に配布するプリントに必ず重要事項を記入すること。							

科目名 (英)	病院マナー (Hospital Manners)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
学科・専攻	医療事務専科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	前期 火曜日 2時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 16年間、洋菓子メーカーにて勤務。多種形態店舗の店長を経験後、本社営業研修課での社員教育、教育ツール作成等に携わる。ダブルケア(育児と介護)での離職経験、大学の社会復帰講座受講を経て、研修講師として活動を開始。老人福祉施設や児童福祉施設でのボランティア活動も行う。レジリエンス、アンガーマネジメント、褒め言葉に関する資格を有し、授業においても多方面からアプローチする術を持つ。さらに人材とは“人財”であるからこそ、自分と他者を認め、誰かの役に立てる幸せを自覚出来る授業を実施する。							
【到達目標】 医療従事者として必要な「患者様の立場に立った接遇」と「社会人として人間関係を円滑にするスキルを実践形式で身につける事が出来る。 ①マスクをしていても好感を持たれる表情・立ち振る舞い ②コミュニケーションスキル・聞く・話す・書くなど ③医療現場で必要な意識の理解 ④電話の受け方・かけ方 ①～④について、現場ですぐに実践できるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】 ・配付資料 ・ワークシート				【授業外における学習】 ・挨拶や表情など、普段の生活で意識していることを行う			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 オリエンテーション＆自己開示 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 学ぶ空間作り ・クラスの雰囲気に慣れる ・クラスメイトを知る ・好感の持てる挨拶の仕方が出来る				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
2	【授業単元】 言葉遣い① 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 言葉の表現力を身につける ・言葉の影響力を実感する ・自分自身にとってプラスになる言葉を知る・使えるようになる ・相手にとってプラスになる言葉を知る・使えるようになる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
3	【授業単元】 言葉遣い② 敬語 技法 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 言葉の応用力を身につける ・敬語の種類について説明出来る ・一般動詞に対する尊敬語と謙譲語を言える ・指定された尊敬語や謙譲語を使って、例文が作れる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
4	【授業単元】 表現力 表情 動作 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 動作を積極的に使ったマナー表現を身につける ・挨拶の意味を理解し、TPOに合った挨拶言葉を言える ・挨拶の真意が相手に伝わる表情やお辞儀が出来る ・挨拶を大切にすること意識を持つことが出来る				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
5	【授業単元】 表現力 プラスα 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 名刺交換が出来る ・名刺を正しく取り扱うことが出来る ・基本の名刺交換が出来る ・複数人と名刺交換する際				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
6	【授業単元】 総合演習 ①電話応対 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 電話で言葉遣いと表現力の成果を発揮する ・電話の特性・使い方の基本を知る ・適切な声の発し方(大きさ・高さ・スピード)が実施出来る ・必要な敬語表現が実施出来る				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
7	【授業単元】 定期試験 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・定期試験実施 ・解答＆解説				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
8	【授業単元】 総合演習 ②受付応対 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・受付業務の基本的な動作が出来る ・受付業務の基本的な声かけが出来る ・患者様への目配り・気配りを実践するためにどうすれば良いかを考えられる				【評価方法について】 評価は筆記試験で行う 授業内で勉強した知識を使い、即現場で使えるように出題する。 小テストの合計(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。 評価は学則規定に準ずる。		
【特記事項】							

科目名 (英)	医療秘書実務 (Medical Secretary Business)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
学科・専攻	医療事務専科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 水曜日 1時限
【授業の学習内容と心構え】 医療機関に30年以上勤務し、管理職の経験をもつ講師が担当する。診療報酬請求・医師事務・施設基準・個別指導等の公的機関対応等を担った経験が生きる講義を進めていく。高度医療と共に必要視されている医療秘書は診察・看護・コメディカルの医療行為全般に関する専門事務職である。各部門間および患者との調整役割を持つ医療の要となる。基本的知識を養い、医療機関の一線で業務ができるよう授業を進めていく。							
【到達目標】 2023年6月医療秘書技能検定3級・11月2級合格を目指す。学びながら医療秘書業務の目標や理想を持つことを目標にする。							
【使用教科書・教材・参考書】 新 医療秘書実務シリーズ1 医療秘書 達帛社 講師作成パワーポイント 過去問題集				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 オリエンテーション わが国の医療と医療秘書 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 講師紹介 講義内容 1. わが国の医療と医療秘書 ・医療とは ・歴史 ・医療事務の展開 ・病院組織 小テスト				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
2	【授業単元】 わが国の医療と医療秘書 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・医療施設について ・国際比較 ・医療制度の特徴と国民医療費 ・診療報酬請求・医療体制 ・今後の展望 小テスト				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
3	【授業単元】 医療秘書の現状と将来 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・欧米・日本の医療秘書 ・役割と業務 ・医師事務作業補助者 小テスト レポート課題出題				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
4	【授業単元】 医療秘書の実務 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 レポート提出 ・職務知識 ・人間関係とコミュニケーション ・実務 小テスト				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
5	【授業単元】 医療秘書の実務 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・実務(オンライン) ・病棟クラーク ・クレーム ・医療ビジネス文書 小テスト				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
6	【授業単元】 医療秘書の実務 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・医療とICT(システムとのかかわり レセプト送信 ・過去問題				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
7	【授業単元】 試験・解説 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 過去問題 実習へ向けての心構え マナーについて				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
8	【授業単元】 振り返り 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 試験				【評価方法について】 小テスト レポート提出 試験 授業態度		
【特記事項】							

科目名 (英)	医療概論・医療用語 Medical Care Theory	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
学科・専攻	医療事務専科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分 曜日・時間	前期 火曜日 4時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 社会医学の研究者兼コンサルタントとして医療に関わる講師が指導を行う。前半7回の授業では医療を取り巻く諸問題と医療保険制度について理解を深め、後半7回の授業では、カルテや紹介状等で目にする医療用語及び略語に関する知識を教授する。医療秘書検定3級をはじめ、検定合格に必要な知識を中心に教授しつつ、医療制度について自分の言葉でわかりやすく説明する練習も取り入れる予定である。							
【到達目標】 医療秘書技能検定3級の過去5年分の問題において、医療知識分野の正答率が80%を超える。 医療に関する用語について、患者に対してわかりやすい形で説明することができる。							
【使用教科書・教材・参考書】 建帛社新医療秘書医学シリーズ「医療概論」「三訂医療用語」				【授業外における学習】 課題への取り組みを成績評価に加えるため、医療秘書技能検定3級の問題を自宅で演習・復習することが求められる			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 医療とは何か 【授業形態】 講義 【到達目標】 以下の用語について説明できる。 「インフォームド Consent」「セカンドオピニオン」 「医療秘書の業務内容」			9	【授業単元】 身体症状に関する用語・略語 【授業形態】 講義 【到達目標】 以下の用語を読み書きでき、且つその意味がわかる。 「疼痛」「梗塞」「腫瘍」「倦怠感」		
2	【授業単元】 死と医療 【授業形態】 講義 【到達目標】 以下の用語について説明できる。 「緩和ケア」「尊厳死」「QoL」			10	【授業単元】 身体部位に関する英単語 【授業形態】 講義 【到達目標】 以下の用語の意味とその部位がわかる。 「brain」「liver」「spinal cord」「pregnancy」		
3	【授業単元】 医療従事者の働き 【授業形態】 講義 【到達目標】 医療職の名称と各職の業務内容について説明できる。			11	【授業単元】 全診療科で用いる用語・略語 【授業形態】 講義 【到達目標】 以下の用語を読み書きでき、且つその意味がわかる。 「貼付薬」「IV」「血圧」「BMI」		
4	【授業単元】 医療保険制度とは 【授業形態】 講義 【到達目標】 以下の用語について説明できる。 「診療報酬」「レセプト」「返戻」「保険医」			12	【授業単元】 内科で用いる用語・略語 【授業形態】 講義 【到達目標】 以下の用語を読み書きでき、且つその意味がわかる。 「慢性腎不全」「狭心症」「胃潰瘍」「SLE」		
5	【授業単元】 医療に関する法律 【授業形態】 講義 【到達目標】 以下の用語について説明できる。 「病院と診療所の違い」「特定機能病院」「地域連携支援病院」			13	【授業単元】 外科で用いる用語・略語 【授業形態】 講義 【到達目標】 以下の用語を読み書きでき、且つその意味がわかる。 「臓器移植」「捻挫」「マンモグラフィー」「椎間板ヘルニア」		
6	【授業単元】 医療に関する法律 【授業形態】 講義 【到達目標】 以下の用語について説明できる。 「介護保険」「後期高齢者医療制度」「高額療養費制度」			14	【授業単元】 その他診療科で用いる用語・略語 【授業形態】 講義 【到達目標】 以下の用語を読み書きでき、且つその意味がわかる。 「ADHD」「中耳炎」「悪阻」「MRSE」		
7	【授業単元】 日本の医療課題 【授業形態】 講義 【到達目標】 以下の用語について説明できる。 「医療費増加」「医療倫理」「超高齢社会」			15	【授業単元】 定期試験 【授業形態】 演習 【到達目標】 授業で説明した医療用語の読み・書きができる。 授業で説明した医療英単語・略語の意味を選択できる。		
8	【授業単元】 中間試験 【授業形態】 演習 【到達目標】 医療秘書技能検定3級の過去5回分の問題から出題する中間試験において、8割以上の点数を獲得できる。			【評価方法について】 中間試験:40点 定期試験:60点 各授業の最後に演習問題を課す。全ての演習問題を解かなかった場合、定期試験の点数を半分にする。 また、最終回の授業で、検定過去問題を解いたノート(PCやiPadも可)を提出する。過去問題(3級または2級)を5回分以上解いていない場合も、定期試験の得点を半分にする。			
【特記事項】							

科目名 (英)	医療法規	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
	Medical Relation Regulation	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分	前期
学科・専攻	医療事務専科					曜日・時間	火曜日 3時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 社会医学の研究者兼コンサルタントとして医療に関わる講師が指導を行う。医療秘書検定3級に出題される医療法規に関する知識を教授し、検定試験の合格を目指す。また、デュアル実習で患者や職員から質問されそうな医療制度についても解説する。							
【到達目標】 医療法・健康保険法・医療従事者に関する法律・療養担当規則の文章を理解することができる 上記法律と関連する知識について、その意味を説明することができる。 医療秘書技能検定3級過去問題において、医療法規に関する分野で80%以上正答できる							
【使用教科書・教材・参考書】 建帛社新医療秘書医学シリーズ「医療関連規則」				【授業外における学習】 課題への取り組みを成績評価に加えるため、自宅での演習・復習が求められる			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 社会保障制度・医療保障制度 【授業形態】 講義 【到達目標】 以下のテーマについてわかりやすく説明できる。 「保険者と被保険者の違い」「社会保険の種類」			9	【授業単元】 公費負担医療制度 【授業形態】 講義 【到達目標】 以下のテーマについてわかりやすく説明できる。 「生活保護法」「養育医療」「難病に関する社会保障」		
2	【授業単元】 健康保険法 【授業形態】 講義 【到達目標】 以下のテーマについてわかりやすく説明できる。 「健康保険制度」「患者負担割合」「法別番号」			10	【授業単元】 社会保険 【授業形態】 講義 【到達目標】 以下のテーマについてわかりやすく説明できる。 「労災時の保険請求」「公的年金の種類」「自動車事故の保険請求」		
3	【授業単元】 医療保険に関する法律 【授業形態】 講義 【到達目標】 以下のテーマについてわかりやすく説明できる。 「国民健康保険」「後期高齢者医療制度」			11	【授業単元】 医療関連法規をめぐる諸課題 【授業形態】 講義 【到達目標】 以下のテーマについてわかりやすく説明できる。 「医師事務作業補助者の業務内容」「医療事故時の対応」「対応困難な患者への対応」		
4	【授業単元】 療養担当規則 【授業形態】 講義 【到達目標】 以下のテーマについてわかりやすく説明できる。 「保険医」「保険医療機関」「医療機関の努め」			12	【授業単元】 診療報酬に関する法規 【授業形態】 講義 【到達目標】 以下のテーマについてわかりやすく説明できる。 「実費徴収できる費用とできない費用の違い」「混合診療」「選定療養と評価療養」		
5	【授業単元】 医療法 【授業形態】 講義 【到達目標】 以下のテーマについてわかりやすく説明できる。 「特定機能病院」「地域医療支援病院」「臨床研究中枢病院」			13	【授業単元】 問題演習 【授業形態】 演習 【到達目標】 医療法規の知識を簡単に説明した文章を作成できる 医療秘書技能検定3級2級の医療法規領域の問題を、7割以上正答できる		
6	【授業単元】 医療従事者に関する法律 【授業形態】 講義 【到達目標】 以下のテーマについてわかりやすく説明できる。 「研修医」「理学療法士と作業療法士の違い」「看護師と准看護師の違い」			14	【授業単元】 問題演習 【授業形態】 演習 【到達目標】 医療法規の知識を簡単に説明した文章を作成できる 医療秘書技能検定3級2級の医療法規領域の問題を、8割以上正答できる		
7	【授業単元】 試験対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 医療秘書検定3級過去問題集において、医療法規に関する問題で6割以上得点できる			15	【授業単元】 定期試験、解説 【授業形態】 演習 【到達目標】 授業で扱った専門知識について、正しい記述や語句を選択することができる		
8	【授業単元】 中間試験 【授業形態】 演習 【到達目標】 医療秘書検定3級過去問題を基に作成した問題で8割以上正答できる			【評価方法について】 中間試験:40点 定期試験:60点 各授業の最後に演習問題を課す。全ての演習問題を解かなかった場合、定期試験の点数を半分にする。 また、最終回の授業で、検定過去問題を解いたノート(PCやiPadも可)を提出する。過去問題(3級または2級)を5回分以上解いていない場合も、定期試験の得点を半分にする。			
【特記事項】							

科目名 (英)	医療統計学	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
	(Medical Statistics)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 水曜日 2時限
学科・専攻	医療事務専科						
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】							
専門学校において15年以上の教員経験があり、医療現場の経験を有する教員が、統計的方法による医療情報の解析方法の基礎を習得する授業を行う。 教科書を使用しないので、毎回の授業資料をファイリングし整理しておく(小テスト、定期試験も資料持込可で実施)							
【到達目標】							
1. 病院経営に関するデータの統計分析方法を習得する。 2. グラフによる統計分析方法を習得する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
				授業で習得した内容を復習しておくこと。			
回	授 業 概 要	回 授 業 概 要					
1	【授業単元】 グラフの種類と特徴 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. 医療機関のデータについて説明できる 2. グラフによる統計分析を説明できる	【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】					
2	【授業単元】 病院経営収支データ、代表値 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. 病院経営収支データについて説明できる 2. 代表値(中心を表す値)によるデータ分析ができる	【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】					
3	【授業単元】 患者データの分析 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. 患者に関するデータから患者統計分析ができる	【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】					
4	【授業単元】 診療費用データの分析 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. 診療費用に関するデータの説明ができる 収益統計・収益費用統計、生産性の統計	【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】					
5	【授業単元】 グラフ作成演習 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. 病床利用率の計算ができる 2. 分布図(ヒストグラム)の作成ができる	【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】					
6	【授業単元】 グラフ作成演習 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. データ作成・分析を行い、グラフを作成する	【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】					
7	【授業単元】 会計知識 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. 医事課に必要な会計知識を説明できる 変動費、固定費、損益分岐点など	【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】					
8	【授業単元】 定期試験・解答解説 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. 定期試験	【評価方法について】 評価は、筆記試験で行う。授業で習得した知識の理解度、定着度を確認する。筆記試験は、小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。評価は、学則規定に準ずる。					
【特記事項】							

科目名 (英)	電子カルテ (Electronic Karte)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
学科・専攻	医療事務専科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	前期 水曜日 3時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 専門学校において15年以上の教員経験があり、医療現場の経験を有する教員が、医療現場における電子カルテの入力操作方法を習得する授業を行う。							
【到達目標】 電子カルテシステムの概要を学び、入力操作技術の習得を目標とする。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】 授業で習得した内容を操作テキストで復習しておくこと。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 入力操作 【授業形態】 演習 【到達目標】 1.電子カルテシステムの概要・機能を説明できる 2.電子カルテシステムの入力ができる 権限設定、患者登録、問診票、SOAP、シエーマ				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
2	【授業単元】 入力操作 【授業形態】 演習 【到達目標】 1.電子カルテシステムの入力ができる 診療内容の入力、Do機能、会計処理 2.外来患者(診療所)の電子カルテが作成できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
3	【授業単元】 外来カルテ作成 【授業形態】 演習 【到達目標】 1.外来患者(診療所)の電子カルテが作成できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
4	【授業単元】 外来カルテ作成 【授業形態】 演習 【到達目標】 1.外来患者(診療所)の電子カルテが作成できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
5	【授業単元】 オーダー機能 【授業形態】 演習 【到達目標】 1.外来患者(病院)における電子カルテの作成ができる。 2.オーダーリング機能の入力ができる。 エックス線(単純・造影剤使用)撮影、内視鏡検査				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
6	【授業単元】 オーダー機能 【授業形態】 演習 【到達目標】 1.外来患者(病院)の電子カルテが作成できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
7	【授業単元】 検定試験対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 1.会話形式の入力データから電子カルテが作成できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
8	【授業単元】 定期試験、解答解説 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 定期試験				【評価方法について】 評価は、演習試験で行う。授業で習得した知識の理解度、定着度を 確認する。演習試験は、小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計 100点満点で評価する。評価は、学則規定に準ずる。		
【特記事項】							

科目名 (英)	電子カルテ演習 (Electronic Karte Practice)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
学科・専攻	医療事務専科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	前期 水曜日 4時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 専門学校において15年以上の教員経験があり、医療現場の経験を有する教員が、電子カルテ実技検定試験合格に向けての知識・技術を習得する授業を行う。							
【到達目標】 電子カルテ実技技能検定試験問題を制限時間(50分)以内に、正解率60%で入力する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】 授業で習得した内容を操作テキストで復習しておくこと。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 検定試験対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 第22回電子カルテ実技検定試験問題の入力ができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
2	【授業単元】 検定試験対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 第23回電子カルテ実技検定試験問題の入力ができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
3	【授業単元】 検定試験対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 第24回電子カルテ実技検定試験問題の入力ができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
4	【授業単元】 検定試験対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 第25回電子カルテ実技検定試験問題の入力ができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
5	【授業単元】 検定試験対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 第26回電子カルテ実技検定試験問題の入力ができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
6	【授業単元】 検定試験対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 第27回電子カルテ実技検定試験問題の入力ができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
7	【授業単元】 検定試験対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 第28回電子カルテ実技検定試験問題の入力ができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
8	【授業単元】 定期試験・解答解説 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 定期試験				【評価方法について】 評価は、演習試験で行う。授業で習得した知識の理解度、定着度を 確認する。演習試験は、小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計 100点満点で評価する。評価は、学則規定に準ずる。		
【特記事項】							

科目名 (英)	介護報酬	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
	(Nursing Care fee)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 水曜日 1時限
学科・専攻	医療事務専科						
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 専門学校において15年以上の教員経験があり、医療現場の経験を有する教員が、介護保険制度における基本的な知識を習得する授業を行う。 教科書を使用しないので、毎回の授業資料をファイリングし整理しておく(小テスト、定期試験も資料持込可で実施)							
【到達目標】 1. 介護保険制度のしくみについての知識を習得する。 2. 介護報酬請求事務についての知識を習得し、介護レセプトを作成する。							
【使用教科書・教材・参考書】 『ケアマネジャー・ケアクラークのための介護サービスコード表』(caps)				【授業外における学習】 授業で習得した内容を復習しておくこと。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 介護保険制度 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. 介護保険制度の内容を理解する 制度の歴史、制度のしくみ、保険者と被保険者、認定				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
2	【授業単元】 居宅サービスの種類 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. 介護サービス(居宅サービス)の種類と内容について説明できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
3	【授業単元】 居宅サービスの単位数算定 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. 介護サービス(居宅サービス)の単位数算定ができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
4	【授業単元】 居宅サービスの単位数算定 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. 介護サービス(居宅サービス)の単位数算定ができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
5	【授業単元】 地域密着型サービスの単位数算定 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. 介護サービス(地域密着型サービス)の単位数算定ができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
6	【授業単元】 単位数算定演習 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. 介護サービス(居宅サービス、地域密着型サービス)の算定ができるようになる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
7	【授業単元】 単位数算定演習 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. 介護サービス(居宅サービス、地域密着型サービス)の算定ができるようになる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
8	【授業単元】 定期試験、解答解説 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. 定期試験				【評価方法について】 評価は、筆記試験で行う。授業で習得した知識の理解度、定着度を確認する。筆記試験は、小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。評価は、学則規定に準ずる。		
【特記事項】							

科目名 (英)	医療法規・病院管理	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
	Medical Relation Regulation/Hospital Management	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15時間 (1)	開講区分	後期
学科・専攻	医療事務専科					曜日・時間	火曜日 2時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 社会医学の研究者兼コンサルタントとして医療に関わる講師が指導を行う。医療秘書検定3級・2級に出題される医療法規および病院管理に関する知識を教授し、検定試験の合格を目指す。病院管理については、病院でどのような人々がどのような役割を果たしているかを学び、皆さんが医療経営や後輩指導を担う立場になった際に求められる知識の獲得を目的とする。							
【到達目標】 医療秘書技能検定試験2級の該当分野の得点率が80%を超える 病院組織の各部門の特徴を理解する 良いパフォーマンスを出し続ける組織の特徴を、自分なりの言葉で説明できる							
【使用教科書・教材・参考書】 建帛社新医療秘書医学シリーズ「医療関連規則」「医療秘書」				【授業外における学習】 課題への取り組みを成績評価に加えるため、自宅での演習・復習が求められる			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 病院組織Ⅰ 【授業形態】 講義 【到達目標】 以下のテーマについてわかりやすく説明できる。 「ライン部門」「スタッフ部門」「診療部門」				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
2	【授業単元】 病院組織Ⅱ 【授業形態】 講義 【到達目標】 以下のテーマについてわかりやすく説明できる。 「事務部門の構成」「病院情報システムの枠組み」				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
3	【授業単元】 病院経営Ⅰ 【授業形態】 講義 【到達目標】 以下のテーマについてわかりやすく説明できる。 「財務諸表の分類」「ロジスティック管理」				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
4	【授業単元】 病院経営Ⅱ 【授業形態】 講義 【到達目標】 以下のテーマについてわかりやすく説明できる。 「医療機関の生産性」「医療の質」				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
5	【授業単元】 中間試験、解答解説 【授業形態】 講義 【到達目標】 第1-4回の授業で扱った内容に関する問題で7割以上の点数が取れる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
6	【授業単元】 検定対策Ⅰ 【授業形態】 講義 【到達目標】 医療秘書検定3級過去問題集において、医療法規に関する問題で8割以上得点できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
7	【授業単元】 検定対策Ⅱ 【授業形態】 演習 【到達目標】 医療秘書検定2級過去問題集において、医療法規に関する問題で7割以上得点できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
8	【授業単元】 定期試験 【授業形態】 演習 【到達目標】 医療秘書検定2級過去問題を基に作成した問題で8割以上正答できる				【評価方法について】 中間試験:40点 定期試験:60点 各授業の最後に演習問題を課す。全ての演習問題を解かなかった場合、期末試験の点数を半分にする。 また、最終回の授業で、検定過去問題を解いたノート(PCやiPadも可)を提出する。過去問題(3級または2級)を5回分以上解いていない場合も、定期試験の得点を半分にする。		
【特記事項】							

科目名 (英)	レセプトコンピュータ (Medical-Affairs Computer)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
学科・専攻	医療事務専科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90時間 (6)	開講区分 曜日・時間	前期 月曜日1・2時限／水曜日1・2時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 専門学校において15年以上の教員経験があり、医療現場の経験を有する教員が、医療現場における医事コンピュータの基本的な知識を習得する授業を行う。診療報酬請求事務演習授業の理解が正しい入力へとつながるので、診療報酬請求事務演習の授業資料は必ず持参する。 入力結果の正解は1つなので、解答確認の時間を大切にし、間違ったところをしっかりと理解する。							
【到達目標】 医事コンピュータ操作の基礎を学び、正しい外来レセプト入力技術の習得を目標とする。							
【使用教科書・教材・参考書】 『診療点数早見表』(医学通信社)				【授業外における学習】 授業で習得した内容を復習しておくこと。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1,2	【授業単元】 患者登録、病名情報入力 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 医事コンピュータソフトの起動、患者登録ができる 2. 傷病名入力(接頭語、接尾語)ができる			17,18	【授業単元】 処置・手術・麻酔 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 処置料の入力ができる 2. 手術料の入力ができる		
3,4	【授業単元】 初診、再診 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 初診・再診の入力ができる 2. 複数科受診時の初診・再診の入力ができる			19,20	【授業単元】 検定問題演習 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・医事コンピュータ技能検定試験3級の過去問題(実技・外来)を行い、試験問題を時間内に入力できる		
5,6	【授業単元】 投薬 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・内服薬、屯服薬、外用薬の入力ができる			21,22	【授業単元】 検定問題演習 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・医事コンピュータ技能検定試験3級の過去問題(実技・外来)を行い、試験問題を時間内に入力できる		
7,8	【授業単元】 注射 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・注射料、院外処方の入力ができる			23	【授業単元】 定期試験、解説 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・定期試験		
9,10	【授業単元】 画像診断 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・画像診断の入力ができる ・透視診断、造影剤使用撮影、特殊撮影の入力ができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
11,12	【授業単元】 医学管理等 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・医学管理料の入力ができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
13,14	【授業単元】 検体検査 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・検体検査料の入力ができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
15,16	【授業単元】 生体検査、病理診断 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 検体検査料の入力ができる 2. 生体検査、病理診断の入力ができる				【評価方法について】 評価は、演習試験で行う。授業で習得した知識の理解度、定着度を確認する。演習試験は、小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。評価は、学則規定に準ずる。		
【特記事項】							

科目名 (英)	レセプトコンピュータ (Medical-Affairs Computer)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
学科・専攻	医療事務専科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90時間 (6)	開講区分 曜日・時間	後期 水曜日2時限、木曜日 1・2時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 専門学校において15年以上の教員経験があり、医療現場の経験を有する教員が、医療現場における医事コンピュータの基本的な知識を習得する授業を行う。診療報酬請求事務演習授業の理解が正しい入力へとつながるので、診療報酬請求事務演習の授業資料は必ず持参する。入力結果の正解は1つなので、解答確認の時間を大切にし、間違ったところをしっかりと理解する。							
【到達目標】 医事コンピュータ操作の基礎を学び、正しい外来(外来診療料)・入院レセプト入力技術の習得を目標とする。							
【使用教科書・教材・参考書】 『診療点数早見表』(医学通信社)				【授業外における学習】 授業で習得した内容を復習しておくこと。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
24	【授業単元】 再診 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 外来診療料の算定・入力ができる			36	【授業単元】 入院 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 一般病棟入院基本料、入院基本料等加算の入力ができる 2. 入院時食事療養費の入力ができる 3. 外来との相違部分(初再診、投薬、注射、検査など)の入力ができる		
25, 26	【授業単元】 試験対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・医事コンピュータ技能検定試験3級の過去問題(実技・外来)を行い、試験問題を時間内に入力できる			37, 38	【授業単元】 試験対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・医事コンピュータ技能検定試験2級の過去問題(実技・外来)を行い、試験問題を時間内に入力できる		
27	【授業単元】 処置 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 酸素代の入力ができるようになる 2. 特定保険医療材料代の入力ができるようになる			39	【授業単元】 試験対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・医事コンピュータ技能検定試験2級の過去問題(実技・外来)を行い、試験問題を時間内に入力できる		
28, 29	【授業単元】 試験対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・医事コンピュータ技能検定試験3級の過去問題(実技・外来)を行い、試験問題を時間内に入力できる			40, 41	【授業単元】 試験対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・医事コンピュータ技能検定試験2級の過去問題(実技・外来)を行い、試験問題を時間内に入力できる		
30	【授業単元】 入院 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 輸血の入力ができるようになる 2. 複数手術実施時の入力ができるようになる 3. 麻酔料の入力ができる			42	【授業単元】 試験対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・医事コンピュータ技能検定試験2級の過去問題(実技・外来)を行い、試験問題を時間内に入力できる		
31, 32	【授業単元】 試験対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・医事コンピュータ技能検定試験3級の過去問題(実技・外来)を行い、試験問題を時間内に入力できる			43, 44	【授業単元】 試験対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・医事コンピュータ技能検定試験2級の過去問題(実技・外来)を行い、試験問題を時間内に入力できる		
33	【授業単元】 リハビリテーション、精神科専門療法料 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. リハビリテーション料の入力ができる 2. 精神科専門療法料の入力ができる			45	【授業単元】 定期試験、解答解説 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 定期試験		
34, 35	【授業単元】 試験対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・医事コンピュータ技能検定試験3級の過去問題(実技・外来)を行い、試験問題を時間内に入力できる			【評価方法について】 評価は、演習試験で行う。授業で習得した知識の理解度、定着度を確認する。演習試験は、小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。評価は、学則規定に準ずる。			
【特記事項】							

科目名 (英)	レセプト演習 (Medical Examination and Treatment Reward Request Office Work Practice)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120時間 (8)	開講区分 曜日・時間	前期 月曜日／水曜日1・2時限、木曜日1・2時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 専門学校において15年以上の教員経験があり、医療現場の経験を有する教員が、医療事務従事者の診療報酬における基本的な知識(カルテの読解、点数表の調べ方)を習得する授業を行う。							
【到達目標】 医科診療点数早見表の内容を正しく理解し、診療録(外来カルテ)にもとづく診療内容の算定を正しくできる力を習得する。							
【使用教科書・教材・参考書】 『診療点数早見表』(医学通信社) 『<医科>カルテ例題集』(ケアアンドコミュニケーション)				【授業外における学習】 授業で習得した内容を復習しておくこと。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1・2	【授業単元】 初診・再診 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 保険診療の仕組みを説明できる 2. カルテを見て、初診・再診の判断ができる 3. 初診料、再診料の算定ができる			17・18	【授業単元】 検査・病理診断 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 内視鏡検査、病理診断の算定ができる 2. 医療秘書技能検定試験3級領域3の解き方を説明できる		
3・4	【授業単元】 初診・再診 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. カルテを見て、初診・再診の判断ができる 2. 初診料、再診料、外来診療料の算定ができる			19・20	【授業単元】 投薬、医学管理等 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 特定疾患患者に対する算定ができる 特定疾患療養管理料、特定疾患処方管理加算 2. 手書きレセプト作成手順を説明できる		
5・6	【授業単元】 投薬 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 院内処方、院外処方の算定項目を説明できる 2. 診療報酬請求における薬の分類ができる			21・22	【授業単元】 医学管理等 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 医学管理料の算定ができる 2. レセプト記載方法を説明できる		
7・8	【授業単元】 投薬 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 薬剤料の計算手順を説明できる 2. 診療報酬明細書請求欄の投薬部分を記載できる			23・24	【授業単元】 処置 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 処置料の算定ができる		
9・10	【授業単元】 注射 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 注射料の算定ができる 2. 診療報酬明細書請求欄の上書き部分を記載できる			25・26	【授業単元】 処置 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 処置料(1日につき)の算定ができる 2. 酸素代の計算ができる		
11・12	【授業単元】 画像診断 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 画像診断料の算定ができる 2. レセプト記載内容を説明できる			27・28	【授業単元】 手術・麻酔 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 手術料の算定ができる		
13・14	【授業単元】 検査 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 検査の分類と算定項目を説明できる 2. 検体検査料の算定ができる			29・30	【授業単元】 手術・輸血・麻酔 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 手術料の算定ができる 2. 輸血代の算定ができる 3. 麻酔料の算定ができる		
15・16	【授業単元】 検査 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 検体検査料の算定ができる 2. 生体検査料、病理診断料の算定ができる			【評価方法について】 評価は、筆記試験で行う。授業で習得した知識の理解度、定着度を 確認する。筆記試験は、小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計 100点満点で評価する。評価は、学則規定に準ずる。			
【特記事項】							

科目名 (英)	レセプト演習 (Medical Examination and Treatment Reward Request Office Work Practice)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120時間 (8)	開講区分 曜日・時間	前期 月曜日／水曜日1・2時限、木曜日1・2時限
学科・専攻	医療事務専科						
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 専門学校において15年以上の教員経験があり、医療現場の経験を有する教員が、医療事務従事者の診療報酬における基本的な知識(カルテの読解、点数表の調べ方)を習得する授業を行う。 外来と入院における算定の違いを理解し、過去問題と類似した問題が出題される傾向があるので、過去問題に関しては不明点がないようにしておく。							
【到達目標】 医科診療点数早見表の内容を正しく理解し、診療録(外来・カルテ)にもとづく診療内容の算定を正しくできる力を習得する。							
【使用教科書・教材・参考書】 『診療点数早見表』(医学通信社)				【授業外における学習】 授業で習得した内容を復習しておくこと。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
31	【授業単元】リハビリテーション、精神科専門療法料 【授業形態】演習 【到達目標】 1. リハビリテーション料の算定ができる 2. 精神科専門療法料の算定ができる			39	【授業単元】入院 【授業形態】演習 【到達目標】 1. 外来との相違部分(初再診、投薬、注射、検査など)の算定ができる		
32	【授業単元】リハビリテーション、精神科専門療法料 【授業形態】演習 【到達目標】 1. リハビリテーション料の算定ができる 2. 精神科専門療法料の算定ができる			40	【授業単元】入院 【授業形態】演習 【到達目標】 1. 外来との相違部分(初再診、投薬、注射、検査など)の算定ができる		
33	【授業単元】在宅医療 【授業形態】演習 【到達目標】 1. 在宅自己注射指導管理料の算定ができる			41	【授業単元】入院 【授業形態】演習 【到達目標】 1. 外来との相違部分(医学管理など)の算定ができる 2. 医療秘書技能検定2級の医療事務問題を60分以内に、60点を超えることができる		
34	【授業単元】在宅医療 【授業形態】演習 【到達目標】 1. 在宅自己注射指導管理料の算定ができる			42	【授業単元】入院 【授業形態】演習 【到達目標】 1. 外来との相違部分(医学管理など)の算定ができる 2. 医療秘書技能検定2級の医療事務問題を60分以内に、60点を超えることができる		
35	【授業単元】検定問題演習 【授業形態】演習 【到達目標】 1. 医療秘書技能検定3級問題の解き方を説明できる			43	【授業単元】入院 【授業形態】演習 【到達目標】 1. 医療秘書技能検定2級の医療事務問題を60分以内に、60点を超えることができる		
36	【授業単元】検定問題演習 【授業形態】演習 【到達目標】 1. 医療秘書技能検定3級問題の解き方を説明できる			44	【授業単元】入院 【授業形態】演習 【到達目標】 1. 医療秘書技能検定2級の医療事務問題を60分以内に、60点を超えることができる		
37	【授業単元】検定問題演習 【授業形態】演習 【到達目標】 1. 医療秘書技能検定3級問題の解き方を説明できる			45	【授業単元】定期試験 【授業形態】演習 【到達目標】 1. 定期試験・解答解説		
38	【授業単元】検定問題演習 【授業形態】演習 【到達目標】 1. 医療秘書技能検定3級問題の解き方を説明できる			【評価方法について】 評価は、筆記試験で行う。授業で習得した知識の理解度、定着度を確認する。筆記試験は、小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。評価は、学則規定に準ずる。			
【特記事項】							

科目名 (英)	レセプト演習 (Medical Examination and Treatment Reward Request Office Work Practice)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120時間 (8)	開講区分 曜日・時間	後期 月曜日 1・2時限
学科・専攻	医療事務専科						
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 専門学校において15年以上の教員経験があり、医療現場の経験を有する教員が、医療秘書技能検定2級領域3の合格に向けての知識を習得する授業を行う。 外来と入院における算定の違いを理解し、過去問題と類似した問題が出題されるので、過去問題は不明点がないようにしておく。							
【到達目標】 医科診療点数早見表の内容を正しく理解し、診療録(入院カルテ)にもとづく診療内容の算定を正しくできる力を習得する。 医療現場で行われている点検業務についての知識を習得する。							
【使用教科書・教材・参考書】 『診療点数早見表』(医学通信社)				【授業外における学習】 授業で習得した内容を復習しておくこと。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
46	【授業単元】 入院 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 医療秘書技能検定2級の医療事務問題を60分以内に 行い、60点を超えることができる			54	【授業単元】 入院 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 医療秘書技能検定2級の医療事務問題を60分以内に 行い、60点を超えることができる		
47	【授業単元】 入院 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 医療秘書技能検定2級の医療事務問題を60分以内に 行い、60点を超えることができる			55	【授業単元】 入院 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 医療秘書技能検定2級の医療事務問題を60分以内に 行い、60点を超えることができる		
48	【授業単元】 入院 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 医療秘書技能検定2級の医療事務問題を60分以内に 行い、60点を超えることができる			56	【授業単元】 点検業務 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 点検業務内容を理解することができる		
49	【授業単元】 入院 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 医療秘書技能検定2級の医療事務問題を60分以内に 行い、60点を超えることができる			57	【授業単元】 調剤報酬 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 調剤報酬の内容について説明できる		
50	【授業単元】 入院 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 医療秘書技能検定2級の医療事務問題を60分以内に 行い、60点を超えることができる			58	【授業単元】 労災レセプト 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 労災報酬の内容について説明できる		
51	【授業単元】 入院 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 医療秘書技能検定2級の医療事務問題を60分以内に 行い、60点を超えることができる			59	【授業単元】 自賠責レセプト 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 自賠責レセプトの内容について説明できる		
52	【授業単元】 入院 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 医療秘書技能検定2級の医療事務問題を60分以内に 行い、60点を超えることができる			60	【授業単元】 定期試験 【授業形態】 演習 【到達目標】 定期試験・解答解説		
53	【授業単元】 入院 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 医療秘書技能検定2級の医療事務問題を60分以内に 行い、60点を超えることができる			【評価方法について】 評価は、筆記試験で行う。授業で習得した知識の理解度、定着度を 確認する。筆記試験は、小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計 100点満点で評価する。評価は、学則規定に準ずる。			
【特記事項】							

科目名 (英)	DPC演習	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	後期 木曜日 2時限
	(DPC Practice)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	
学科・専攻	医療事務専科						
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 専門学校において15年以上の教員経験があり、医療現場の経験を有する教員が、DPC制度における基本的な知識を習得する授業を行う。 教科書を使用しないので、毎回の授業資料をファイリングし整理しておく(小テスト、定期試験も資料持込可で実施)							
【到達目標】 DPCによる包括評価制度のしくみ、算定方法を習得、DPCによる点数算定とレセプト作成ができる							
【使用教科書・教材・参考書】 『診療点数早見表』(医学通信社)				【授業外における学習】 授業で習得した内容を復習しておくこと。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 概要、対象病院、対象患者 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. DPC制度の要点を説明できる 2. DPC対象病院の説明ができる 3. DPC対象患者の説明ができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
2	【授業単元】 DPC算定方法、主要診断群 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. DPC点数表による算定ができる 2. 「MDC」について説明できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
3	【授業単元】 入院期間別点数 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 入院期間別点数による算定ができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
4	【授業単元】 請求パターン 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 包括評価部分の請求パターンを説明できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
5	【授業単元】 包括点数算定 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 診断群分類が入院途中で変更になった場合の DPC包括点数計算ができるようになる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
6	【授業単元】 レセプト作成 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. DPCのレセプト作成ができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
7	【授業単元】 DPCソフト操作方法 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. DPCソフトによるDPCレセプト作成ができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
8	【授業単元】 定期試験・解答解説 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 定期試験				【評価方法について】 評価は、演習試験で行う。授業で習得した知識の理解度、定着度を 確認する。演習試験は、小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計 100点満点で評価する。評価は、学則規定に準ずる。		
【特記事項】							

科目名 (英)	病院文書演習 (Hospital Documents Exercises)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
学科・専攻	医療事務専科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 月曜日 2時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 専門学校において15年以上の教員経験があり、医療現場の経験を有する教員が、医療機関で記載すべき文書の作成方法を習得する授業を行う。 教科書を使用しないので、毎回の授業資料をファイリングし整理しておく(小テスト、定期試験も資料持込可で実施)							
【到達目標】 1. 医療機関で記載される各種文書の作成方法を習得する。 2. グラフによる統計分析方法を習得する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】 授業で習得した内容を復習しておくこと。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 医師事務作業補助者の業務内容 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 医師事務作業補助者の業務内容を説明できる 2. 医療機関で作成される文書の内容を説明できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
2	【授業単元】 文書作成 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 診療情報提供書(紹介状)が作成できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
3	【授業単元】 文書作成 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 診療情報提供書・返書が作成できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
4	【授業単元】 文書作成 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 診断書が作成できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
5	【授業単元】 文書作成 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 処方箋が作成できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
6	【授業単元】 文書作成 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 入院診療計画書／クリティカルパスが作成できる 2. 退院時サマリーが作成できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
7	【授業単元】 文書作成 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 介護保険の「主治医意見書」が作成できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
8	【授業単元】 定期試験・解答解説 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 定期試験				【評価方法について】 評価は、筆記試験で行う。授業で習得した知識の理解度、定着度を 確認する。筆記試験は、小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計 100点満点で評価する。評価は、学則規定に準ずる。		
【特記事項】							

科目名 (英)	臨床実技演習 (Clinical Practical Exeercise)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
学科・コース	医療事務専科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	後 期 火曜日 1時限 /2時限
【授業の学習内容と心構え】 看護及び教育学士として大学病院で臨床経験を積み、大手医療機器メーカーにて医療従事者に対しての教育に携わりながら、医療現場の知識と安全向上のために貢献してきた教員が、医療の現場で行われている患者様へのサポートや医療行為などを体験型で授業を行う。 ※この授業は生徒同士の接触もあるため、感染症などの発生状況及び季節事象により授業内容の順番が一部変更になることがあります。							
【到達目標】 体の一部が不自由になった場合やそれに対するサポートを体験することにより、障害とはどのような感覚なのか、それに対してどのようなサポートが必要なのか、患者様の立場に立ちその重要性を認識することができる。 それにより、医療のスペシャリストとしての自覚を構築し、その意識を持って職場に臨むことができる。また、この経験を自身の生活にも活かしてほしい。							
【使用教科書・教材・参考書】 各授業毎に重要事項を記入するプリントを配布 この授業は生徒同士の接触もあるため、感染症などの発生状況及び季節事象により授業内容の順番が一部変更になることがあります。				【授業外における学習】 各授業で配布したプリント内容の復習 授業内容を実習の現場で活かす			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 血圧について 【授業形態】 演習 【到達目標】 生活習慣病である高血圧について理解を深め、体への影響を知ることができる 実際に血圧を測定し、自分の血圧値を知る						
2	【授業単元】 車椅子の取扱いについて 【授業形態】 演習 【到達目標】 車椅子取扱い時の注意点を理解し、安全に操作することができる 乗車側と介助者側を体験し、双方の留意すべき点を見出すことができる						
3	【授業単元】 視覚障害について 【授業形態】 演習 【到達目標】 視覚障害とはどのような状態なのか、実際に体験して視覚障害者へのサポートの必要性を理解する						
4	【授業単元】 体位変換について 【授業形態】 演習 【到達目標】 体位変換の必要性を理解する 実際に体位変換を行い、実施時の注意事項を理解する						
5	【授業単元】 心臓及び消化器臓器について 【授業形態】 演習 【到達目標】 心臓の構造及び消化器系臓器の位置を再確認し、実際の臨床での検査や治療などの状況が理解できるようにする。						
6	【授業単元】 2D人体モデル(スケルトンモデル)作成 【授業形態】 演習 【到達目標】 1年間の総復習として、体の構造を振り返り、骨格や臓器の適切な位置を完全に理解する						
7	【授業単元】 呼吸困難について/胸郭モデルの作成 【授業形態】 演習 【到達目標】 呼吸が苦しいということはどういうことなのかを知る 実際に動脈血酸素飽和度を測定して、自分のSpO ₂ を知る						
8	【授業単元】 定期試験 (60点満点)、解説 【授業形態】 演習				【評価について】 評価は筆記試験で行う。 ・小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。 ・小テストは、第1・2・3・4回は体験に対してのレポートを書いて提出、第6・7回は作成物を提出する。 ・評価は学則規定に準ずる。		
【特記事項】 授業内容は秘書検定等に役立つ内容となっており、各授業毎に配布するプリントに必ず重要事項を記入すること。							

科目名 (英)	事例検討 (Case Study)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
学科・専攻	医療事務専科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 木曜日 1時限
【授業の学習内容と心構え】 都内の病院で長く医事業務を担当した経験から、現場の様々な事例をもとに皆様と一緒に解決策・対処法をディスカッションしていきたい。医療業界に飛び込む上で役立てていけるような演習を通して、学生が主体となって積極的に考察・発言していくことに期待している。 グループでの討議を交えたものも織り込んでいきたい。							
【到達目標】 医療業界に就職しても困らない知識・思考力・行動力を身につけ、しっかりと自分の意見・考えを伝えられるようにする。							
【使用教科書・教材・参考書】 スライドと随時資料を配布する				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 オリエンテーション 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 授業の進め方を理解する (ケース1)患者登録の誤り (ケース2)会計の待ち時間について				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
2	【授業単元】 事例検討 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 (ケース3)患者からの質問(医学管理料) (ケース4)患者からの質問(在宅医療管理料) (ケース5)ケース3・4の他医療機関との協議				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
3	【授業単元】 事例検討 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 (ケース6)院外処方箋について (ケース7)退院時処方について (ケース8)療情報提供書について I				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
4	【授業単元】 事例検討 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 (ケース9)診療情報提供書について II ★中間試験(40点)				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
5	【授業単元】 事例検討 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 (ケース10)患者からの苦情について 医療安全委員会について				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
6	【授業単元】 事例検討 【授業形態】 演習 【到達目標】 (ケース11)会計について (ケース12)入院費について (ケース13)室料差額について				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
7	【授業単元】 事例検討 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 (ケース14)返戻レセプトの処理 (ケース15)再審査請求 ★全体のまとめと今後の病院事情について講義				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
8	【授業単元】 事例検討まとめ、解説 【授業形態】 演習 【到達目標】 ★定期試験を実施				【評価方法について】 中間試験(40点満点) 定期試験(60点満点) 授業態度		
【特記事項】							

科目名 (英)	実習前教育 (Intoroduction to Research Workshop I)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
学科・コース	医療事務専科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	前期 集中
【授業の学習内容と心構え】 外来現場で受付、レセプト業務、企業への健診請求を行った教員が授業を担当。病院実習の目的を理解し、実習に必要な身構え、気構え、心構えを習得する。休まず出席し、積極的に授業に参加してほしい。							
【到達目標】 ・病院実習に向けて、実習の目的・目標を確認することで、実習へのモチベーションを上げ「よし、やるぞ!」という気持ちになる。 ・病院実習をスムーズに開始できるよう、実習に必要な準備を行う。							
【使用教科書・教材・参考書】 ・実習日誌 ・配布資料				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 病院実習ガイダンス 【授業形態】 講義 【到達目標】 病院実習に行くまでと、開始後7ヶ月間の流れをイメージできる。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
2	【授業単元】 実習前面接練習① 【授業形態】 演習 【到達目標】 デュアル実習での面接練習をすることによって、自分のやりたいことを話すことができるようになる。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
3	【授業単元】 実習前面接練習② 【授業形態】 演習 【到達目標】 デュアル実習での面接練習をすることによって、自分のやりたいことを話すことができるようになる。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
4	【授業単元】 保健証の扱い方 【授業形態】 演習 【到達目標】 受付での保健証の扱い方がわかり、丁寧な窓口対応ができる。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
5	【授業単元】 メイクアップ講座(スーツ着用) 【授業形態】 演習 【到達目標】 《医療職＝サービス業》という視点を持ち、メイクや服装を表現できる。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
6	【授業単元】 医療事務専科卒業生の実習前講話 【授業形態】 演習 【到達目標】 実習での不安を軽減し、実習初日の行動がイメージできる。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
7	【授業単元】 受付ロールプレイング 【授業形態】 演習 【到達目標】 病院の受付を想定したロールプレイングを通じ、初歩的な受付業務・患者様対応ができる。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
8	【授業単元】 実習2ヶ月後の振り返り 【授業形態】 演習 【到達目標】 実習での課題を話すことによって、不安を解消することができる。				【評価について】 評価は学則規定に準ずる 出席状況、提出物、レポートを総合的に勘案して評価する		
【特記事項】							

科目名 (英)	検定対策講座Ⅰ (Official Approval Measure LectureⅠ)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
学科・専攻	医療事務専科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	前期 集中
【授業の学習内容と心構え】 医療事務の実務経験を有し、社会人教育や専門学校での指導経験を有する講師が、医療秘書技能検定、医事コンピュータ技能検定合格に必要な知識を習得し合格に向けての対策授業を行う。過去問題演習を中心に、各授業で習得した知識と技術の定着及び弱点の克服を目指す。							
【到達目標】 医療秘書技能検定、医事コンピュータ技能検定3級に合格する。 医療秘書検定3級で求められる医学知識及び医療用語の漢字・英語・英略語を理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】 『診療点数早見表』(医学通信社) ※プリントを配布(1、3回) 3級用過去問・医療用語・医療英略語				【授業外における学習】 各授業で習得した内容、配布したプリント及び小テストの復習 医療秘書検定の過去問・医療用語・医療英略語			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 検定対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・各臓器別の機能と疾病の特徴を理解する ・医療用語の漢字を読める ・医療英略語を理解する				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
2	【授業単元】 検定対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・各臓器別の機能と疾病の特徴を理解する ・医療用語の漢字を読める ・医療英略語を理解する				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
3	【授業単元】 検定対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・各臓器別の機能と疾病の特徴を理解する ・医療用語の漢字を読める ・医療英略語を理解する				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
4	【授業単元】 検定対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・各臓器別の機能と疾病の特徴を理解する ・医療用語の漢字を読める ・医療英略語を理解する				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
5	【授業単元】 検定対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・医療秘書技能検定試験3級の過去問題を行い、 出題傾向を理解し、時間内に60点を超えることができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
6	【授業単元】 検定対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・医療秘書技能検定試験3級の過去問題を行い、 出題傾向を理解し、時間内に60点を超えることができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
7	【授業単元】 検定対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・医事コンピュータ技能検定試験3級の過去問題を行い、 出題傾向を理解し、時間内に60点を超えることができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
8	【授業単元】 検定対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・医事コンピュータ技能検定試験3級の過去問題を行い、 出題傾向を理解し、時間内に60点を超えることができる				【評価方法について】 評価は、授業で習得した知識の理解度、定着度を 確認する。小テスト(40点：出席率)とレポート(60点) の合計100点満点で評価する。評価は、学則規定に準ずる。		
【特記事項】							

科目名 (英)	検定対策講座Ⅱ	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	
	(Official Approval Measure LectureⅠ)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 集中
学科・専攻	医療事務専科						
【授業の学習内容と心構え】 医療事務の実務経験を有し、社会人教育や専門学校での指導経験を有する講師が、医療秘書技能検定、医事コンピュータ技能検定合格に必要な知識を習得し合格に向けての対策授業を行う。過去問題演習を中心に、各授業で習得した知識と技術の定着及び弱点の克服を目指す。							
【到達目標】 医療秘書技能検定、医事コンピュータ技能検定2級、電子カルテ検定に合格する。 医療秘書検定2級で求められる医学知識及び医療用語の漢字・英語・英略語を理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】 『診療点数早見表』(医学通信社) ※プリントを配布(1、3回) 3級用過去問・医療用語・医療英略語				【授業外における学習】 各授業で習得した内容、配布したプリント及び小テストの復習 医療秘書検定の過去問・医療用語・医療英略語			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 検定対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・各臓器別の機能と疾病の特徴を理解する ・医療用語の漢字を読める ・医療英略語を理解する				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
2	【授業単元】 検定対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・各臓器別の機能と疾病の特徴を理解する ・医療用語の漢字を読める ・医療英略語を理解する				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
3	【授業単元】 検定対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・時間内に7割を超える解答ができる ・苦手な問題を発見し、克服する				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
4	【授業単元】 検定対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・時間内に7割を超える解答ができる ・苦手な問題を発見し、克服する				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
5	【授業単元】 検定対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・医事コンピュータ技能検定試験2級の過去問題を行い、 ・出題傾向を理解し、時間内に60点を超えることができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
6	【授業単元】 検定対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・医事コンピュータ技能検定試験2級の過去問題を行い、 ・出題傾向を理解し、時間内に60点を超えることができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
7	【授業単元】 検定対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・電子カルテ検定の過去問題を行い、 ・出題傾向を理解し、時間内に60点を超えることができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
8	【授業単元】 検定対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・電子カルテ検定の過去問題を行い、 ・出題傾向を理解し、時間内に60点を超えることができる				【評価方法について】 評価は、授業で習得した知識の理解度、定着度を 確認する。小テスト(40点:出席率)とレポート(60点) の合計100点満点で評価する。評価は、学則規定に準ずる。		
【特記事項】							